

◆新事務局長に上野宣浩さんが決定しました。



うえの のりひろ

任期満了に伴い3月末で退任する現事務局長の後任選出のため全国公募を実施し、2日間におよぶ非常に厳しい選考試験(実技・筆記・面接)の結果、上野宣浩さん(山形県米沢市出身/55歳)が選ばれ、1月8日の当理事会で会長の末田健治より理事・顧問に決定理由などを報告しました。

上野さんは国立静岡大学法学部出身。日本を代表する大手証券会社で海外を含む要職を歴任後、上海日本商工会事務局補佐を経て、投資顧問会社役員として活躍された国際経験豊富な方です。

国内では90年代の金融不況、上海では日本企業襲撃暴動への対処など、危機管理および被害管理において、常に現場で指揮してこられました。

海外から日本を客観的に見つめることで、憂国の想いが募り、少子高齢化が急速に進み、国際的に地盤沈下が懸念される日本に対して、少しでも貢献したいと応募されたそうです。

上野さんの出身地である山形県米沢市の英傑で、故ケネディー大統領が尊敬してやまなかった『上杉鷹山公』。急速な過疎化に伴い、地域活力が減退しつつある当町に於いて、厳しい藩政改革を成し遂げた鷹山公の遺訓『なせば成る なさねば成らぬ何事も ならぬは人の成さぬなりけり』を胸に奥様と共に来町される上野さんへのご支援をどうぞ宜しくお願いします。

◆『困りごと解決プロジェクト』が大盛況のうちに終了しました。

『地域の困りごと』解消を目的として都市部住民や若者達と地域住民との共同作業および交流を目的とした通称『困りごと解決プログラム』が修道地区と松原地区で開催され、大盛況のうちに終了しました。

今年で3回目の修道地区では、安田女子大学生約40名が参加し、とんど開催を手伝いました。住民さんからは「昨年以上に盛り上がり、地域の住民に笑顔があふれとても楽しいひとときとなりました。そして、学生を見送る際にはこれまでになく名残惜しい気持ちになったのは私だけではないはずです。」とのお声が寄せられるなど、着実に本事業が定着していることを嬉しく感じています。

そして当時、当町に新たな風を吹き込んだ松原地区の雪かき体験交流は5回目を迎え、安田女子大学生と都市部住民の総勢51名が独居高齢者宅の雪かきを通じた交流を行いました。

松原地区では今回から若手住民をプロジェクトリーダーとして、ベテラン住民が支える運営方法を採用。若手住民の活躍が目覚ましく、地域として大きな成果を得たのではないかと感じています。

最後に、ご支援いただいた多くの方々から心からお礼申し上げます。有難うございました。



修道地区



松原地区

◆非降雪地域の『人情雪国民泊体験』希望校が、年々増加しています!!



本部町立上本部中学校

町民さんの深い人情と行政や当協会の協働で実施している地道な学校への営業活動が功を奏し、広島県以南の非降雪地域からの『雪国民泊体験』型修学旅行による来町学校が年々増加しています。

一昨年は沖縄県1校、昨年は沖縄県1校・台湾1校、今年には沖縄県1校・台湾2校・佐賀県1校と倍数増加しており、広島県に『雪国』があることが徐々に浸透し始めました。



唐津市立第一中学校

今回お引き受けくださった多くの町民さんに対し、心からお礼申し上げます。有難うございました。

また、冬季の平日経済対策としても非常に重要な本取組みですので、多くの町民の皆様に対して、民泊家庭登録へのご協力を改めてお願いします。